

船橋市飯山満川地区 大規模雨水処理施設整備事業計画

(様式1)

項目	内容・施策等
選定理由	<p>本市の公共下水道事業においては、地形的にも低地に位置し浸水被害の常襲地域であった合流区域を先行して雨水整備を実施しており、内陸部を中心とした分流区域については整備が遅れている状況である。このことから、雨水整備の手法として「選択と集中」、「再度災害の防止・軽減」の観点から、浸水リスクが高い地区を優先的に整備（5年確率 56mm/hr）することで、早期の浸水被害軽減を図ることとしている。</p> <p>飯山満川地区については、平成25年10月台風第26号（58.5mm/hr）で床上浸水32戸、床下浸水19戸の浸水被害が発生しており、また雨水流出解析結果からも浸水被害が想定されることから、浸水対策が急務である。</p>
整備目標	<p>本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本計画における対象降雨：5年確率 56 mm/hr</li> <li>・目標とする理由：公共下水道事業計画における計画降雨</li> <li>・ハード整備による整備水準の目標：5年確率 56mm/hr</li> </ul> <p>目標設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>)生命の保護の観点：当該地区に存在する要配慮者関連施設1箇所の家屋浸水被害を防止する。</li> <li>)都市機能の確保の観点：機能保全水深を20cmとする。</li> <li>)個人財産の保護の観点：家屋浸水被害を防止する。</li> <li>)その他：特になし</li> </ul>

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
内水ハザードマップ策定状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有 (平成 年 月 日策定済み)</li> <li>・ 策定予定 (令和2年10月末策定予定)</li> </ul>			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	・ 雨水管渠 (管径 1.8m ~ 2.6m) の整備 排除面積 87ha
			下水道管理者以外	
		ソフト対策	下水道管理者	
			下水道管理者以外	
	自 助	ハード対策		
		ソフト対策		

備考) 事業内容については主な施策について具体的な実施数量を記述

また、下水道管理者以外が行う施策については、道路管理者など実施主体、制度要綱等を具体的に記述

\* 下水道浸水被害軽減総合事業に該当する場合、既存の施設調書を別途添付すること

#### 年度計画 (百万円)

名称	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
雨水管渠	100	50	0	200	1,400	1,400	600	3,750
計	100	50	0	200	1,400	1,400	600	3,750

備考) 事業内容に位置づけた施設について年割額 (事業費) を記述。

整備済のものは含めない。

項 目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	<p>&lt; 事業評価の内容 &gt;</p> <p>被害額：4,359 百万円が削減される。</p> <p>B / C：1.4</p> <p>経済的内部収益率：6%</p> <p>&lt; その他の定量的な効果 &gt;</p> <p>都市浸水対策達成率：27.2% 27.4%（暫定貯留管運用における場合）  27.2% 28.5%（放流先河川の整備完了後に全量流下する場合）</p>
放流先河川との調整状況	<p>現在、千葉県にて放流先河川（二級河川飯山満川）を整備中であることから、公共下水道（雨水）の整備手法としては、管渠を一部先行整備し、既存排水施設の現況排水能力の範囲内で放流しながら、流せない雨水を貯留する暫定貯留管運用とすることで浸水被害の早期軽減を目指す。放流先河川の整備完了後は、雨水を全量流下させる段階的整備とすることで、浸水被害の解消を目指す。</p>
その他	

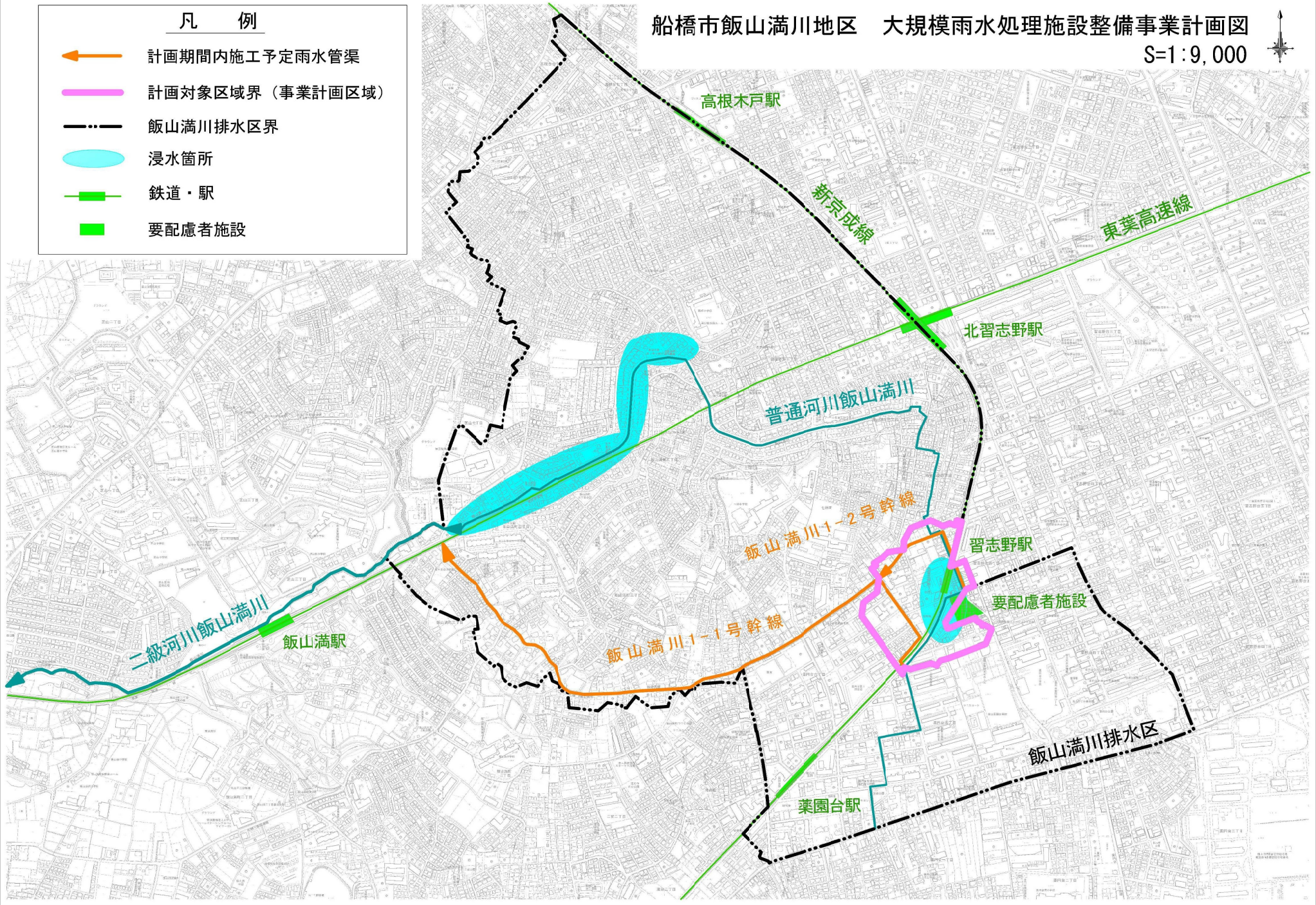


船橋市飯山満川地区 大規模雨水処理施設整備事業計画図

S=1:9,000



- 凡 例
- ← 計画期間内施工予定雨水管渠
  - 計画対象区域界 (事業計画区域)
  - 飯山満川排水区界
  - 浸水箇所
  - 鉄道・駅
  - 要配慮者施設





# はさまがわ 船橋市飯山満川地区 大規模雨水処理施設整備事業

平成25年10月台風26号で58.5mm/hr 総雨量285mmの豪雨を記録し、普通河川飯山満川周辺では、床上・床下浸水被害が広範囲で発生。

このため、公共下水道計画に基づく管渠整備(5年確率 56mm/hr)を実施することで、早期の浸水被害軽減を図る。また平成25年10月台風26号と同規模の降雨に対して、床上浸水被害を防止。

## 位置図



船橋市

## 平成25年10月台風26号による被害状況



床上浸水:32戸、床下浸水:19戸

## 事業概要

事業内容 : 雨水管渠全体延長 2,160m 内径 1.8m ~ 2.6m

全体事業費 : 約37億円 工事諸費等を含む

事業期間 : 令和2年度 ~ 令和8年度

: 平成25年10月台風26号による浸水範囲

## 事業の効果

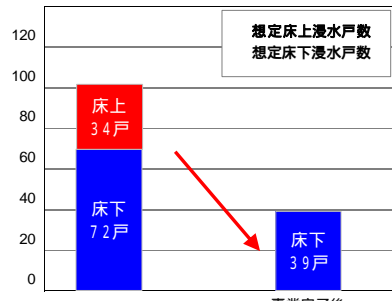
平成25年10月台風26号と同規模の洪水に対して、床上浸水被害を解消。

< 平成25年10月台風26号と同規模の洪水に対する浸水想定被害軽減効果 >  
 想定床上浸水戸数 34戸 → 0戸  
 想定床下浸水戸数 72戸 → 39戸

$$B / C = 1.4$$

## 整備効果

事業実施により床上浸水被害を解消



H25年10月台風26号と同規模降雨における被害想定

事業完了後

